

会 議 録

会議名称	平成25年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
日 時	平成25年9月9日(月)午後6時から午後8時35分
会 場	目黒区総合庁舎地下1階 18・19会議室
出席者	<p>委員 岩崎会長 北本副会長 橋本委員 大濱委員 松尾委員 白鳥委員 野村委員 阿部委員 松原委員 山田委員 代理：石井氏(職安) 岩原委員 仲村委員 中村道子委員 中村茂子委員 水野委員 山下委員 篠崎委員 名簿順</p> <p>事務局 身体障害者相談係：平井 多胡 知的障害者相談係：石田 障害福祉計画係 大越 記録 身体障害者相談係：多胡</p>
次第	<p>1.開会 2.議事 (1)自立支援協議会専門部会及びワーキンググループの活動報告 (2)自立支援協議会の学習会について (3)ホームページについて (4)目黒区障害者計画について (5)目黒区への要望書等 (6)その他 3.閉会</p>
配付資料	<p>資料1 報告書(一般就労部会・施設就労部会・相談支援事業所連絡 会意思疎通支援ワーキンググループ・防災ワーキン ググループ)</p> <p>資料2 一般就労部会の資料 目黒区外の就労支援機関 初期評価・評価実習・職業訓練・アセスメントシート 平成25年第3回 一般就労部会グループワーク資料 平成25年度一般就労部会年間活動予定表 実習先リスト</p> <p>資料3 相談支援事業所連絡会の資料 各事業所の指定特定相談支援実施報告 利用福祉サービス件数 各事業所の指定特定相談支援実施報告 件数一覧 障害サービス更新者数及び知的障害者、児童サービス 更新者数 こんなとき(ヘルパーが)利用できます・出来ません</p> <p>資料4 障害者計画改定に伴うアンケート調査の実施について 計画改定に関わる地域福祉審議会での検討事項について</p>

	<p>地域福祉審議会資料2 地域福祉審議会小委員会進め方について(案)</p> <p>地域福祉審議会資料3</p> <p>地域福祉審議会障害者福祉小委員会資料3</p> <p>地域福祉審議会障害者福祉小委員会資料5</p> <p>地域福祉審議会障害者福祉小委員会資料7</p> <p>障害者基本計画(案)</p> <p>資料5 要望 東京都立光明特別支援学校 目黒区障害者団体懇話会</p>
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>報告</p> <p>(1) 専門部会ならびにワーキンググループからの報告(資料1を参照)</p> <p>1) 一般就労部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートが複数枚にわたっているので、内容を吟味し、今後は1枚にまとめたい。 ・目黒区内に実習できる企業が非常に少ない。また、実習先に事務系の仕事がないので、開拓したい。 <p>2) 施設就労部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注開拓はなかなか厳しい状況であるが、事業所同士で協力し合える部分について協力するという点で合意した。 <p>3) 相談支援事業所連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認されれば「相談支援事業所連絡会」を「相談支援部会」とすることについて、全員の承諾を得た。ついでに、部会の目的・活動内容を明確にする。今後相談支援事業所以外にもメンバーを募集する。 <p>4) 意思疎通支援ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者協会は30年にわたり手話通訳者を養成してきたが、失語症の会としては、会話パートナー(橋渡し役)の養成を検討していきたい。 <p>5) 防災ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月1日の防災訓練の際に、町内会に対し目黒区障害者懇話会で作成したリーフレット「わかってください」を手渡し、感謝された。一口に障害といっても、障害特性が様々であるので、災害時には、一般区民に広く理解してもらう必要がある。今後啓発に力を入れていく必要性を強く感じた。現在、防災の検討に向けて準備中である。 <p>6) 高齢化ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化問題を検討するのにも、障害も事業所も多岐にわたっている。まとめるのが大変であるが、今後少しずつ課題を明確にしていく。 ・報告書は、近々の提出をお願いする。 <p>(2) 学習会について</p> <p>1) 日程について</p> <p>多数決で、日程については、平成26年1月31日(金) 18時から目黒区総合庁舎大会議室に於いて開催と決定した。</p> <p>2) テーマについて</p>

自立支援協議会のPRの場である。

障害当事者に経験談を語ってもらう。それによって、気づかせてもらうことにより、参加者がその次のステップにつなげることが出来る可能性が広がるのではないか。例) 地域移行がうまくいった事例などを取り上げる。

「目黒に住み続けるためには」を大きなテーマにすると良い

勤労者として、感じること(助かっている点、困っている点)について語ってもらう。

障害者権利条約・障害者差別解消法の合理的配慮について、法制度の話は取り上げて欲しい。

3) 形式について

パネルディスカッションなどを行う。

4) 取り組み方

学習会プロジェクトチームを作り、検討する。

(メンバー: 地域活動支援センターふれんず・松尾氏、目黒区手をつなぐ親の会・山田氏、あゆみ園・阿部氏、地域活動支援センターセサミ・橋本氏、事務局)

(3) ホームページについて

(区側)

- ・自立支援協議会の委員の所属・氏名について、掲載することの同意を得た。
- ・システム変更があったために、9月からの作業開始となったため、10月中作成を目途とする。

(4) 障害者計画について(資料4を参照)

(区側)

8月までに、アンケートに関する意見聴取をしたところ、10件の意見を頂戴した。その後修正し、10月から11月にかけて、アンケート調査を実施する。今年度中には、アンケートの集約もする予定である。来年度は、団体に対してヒアリングも予定している。さらに意見のある方は、事務局あてにメールをお願いする。

(5) 目黒区への要望等(資料5を参照)

(区側)

2団体より区長への要望書提出あり(東京都立光明特別支援学校PTA・目黒区障害者団体懇話会)

(区側)

窓口や電話での相談について

- ・親なきあとの生活不安を解消するために、グループホーム等住居に関する要望が多い。
- ・日中活動の支援の場が不足しているため、それを求める声もある。
- ・強度行動障害(知的障害者)のある方の場合、周囲が支えきれない場合もあるため、親御さんを支援して欲しいとの声もある。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 自閉症のお子さんをもつ親御さんは、思いを分かち合いたいと思っているが、相談の場がないので、それに関する要望もある。 |
|--|---|

(委員)

- ・ 目黒にはすくすくのびのび園があり、発達障害の子供達が通園できるので、とても助かっている。幼児期に適切な対応が大変重要である。

以 上